



## 第3回学校運営協議会開催

2月10日に今年度最後の学校運営協議会を行いました。今年度のまとめとして、学校評価結果や学校運営協議会自己評価について委員の皆さんからご意見をいただく中で、コミュニティ・スクールを活発化させたい、学校と地域が密接に話し合い、依頼があればいつでも協力できる体制でいたい、と心強いお言葉をたくさんいただきました。その一歩として、地域が教育活動に積極的に関わる時代に移り変わっていることをもっと周知させる必要があるのでは、とのご意見もいただきました。委員の方々や地域の皆さんの支えがあって、学校運営や教育活動が充実していると改めて実感しました。



## 熟議の様子をご紹介します

### 学校評価について

- 昨年度との比較：全体的に肯定的な評価が多く、昨年度と同じ傾向であった。

#### 大きく評価が上がった項目

テレビやゲームの制限時間

「つながる力」、「みつめる力」を意識

- ・メディア目標を設定させ振り返る活動を取り入れた。
- ・会礼や児童会活動を通して意識付けした。

#### 少し評価が下がった項目

楽しい学校

「10分×学年」の家庭学習

- ・教育活動において重要であり、早急に改善していく。
- ・昨年度からの課題、一人ひとりに合った学習を取入れていく。

- 児童と保護者の比較：児童は現状に満足しているが、保護者の願いはより高いところにある。

#### 大きな差が見られた項目

学習の理解

「10分×学年」の家庭学習

正しい食習慣

テレビやゲームの時間制限

早寝早起き、朝ごはん

- ・家庭と学校が連携して学習や生活習慣を見直す機会をもつ必要がある。
- ・ICT授業は新しい学びで、その様子や効果は周知不足である。授業の参観会やHPを通して、学校の学びを家庭や地域へ積極的に発信していくことで対応していく。

- 児童と教職員の比較：保護者と同様に上記項目において大きな差がみられた。

#### 保護者の評価と異なる項目

明るく元気にあいさつ

- ・教職員は、自分からもっと気持ちの良いあいさつをさせたいとの願いから評価が低い。

### ◆いただいたご意見



評価項目が多く、子供も先生も大変ではないか。項目を絞って、特化できると良い。



楽しく過ごせる学校を目指して、新しい視点でできることはないか、地域交流をもっと深められると良い。

## 学校運営協議会自己評価について

協議会毎に、スライドを使ってその都度基本方針と照らし合わせながら、子供たちの様子を報告して下さったので、理解しやすく、また熟議を進めることができた。

学校運営に資する活動については熟議不足と感じた。支援についてもっと密に話し合えるといい。



コミスクをより活性化させるため、地域が教育現場に関わる時代へ変化していることを地域に周知させる必要があり、もっと発信して協力体制を確立していきたい。

ボランティアの活動人数も減ってしまっているのを、保護者の方にもっと参加してもらえるように協議していく必要がある。

📝 貴重なご意見をありがとうございました。来年度の学校運営に生かしていきます。

## コミスク活動紹介

～委員の方々、ボランティアの皆さん～

【読み聞かせ】→

低学年や高学年向けに、ボランティアの皆さんが読み聞かせを行いました。感情の豊かさや想像力を育むことができ、心の成長へとつながっています。



←【絵画教室】

6年生を対象に絵画教室を行いました。講師の前田さんのアドバイスを参考に作業を進め、素敵な作品に仕上がりました。



学校支援コーディネーター堀尾さん

「令和4年度建築物環境衛生功労者厚生労働大臣受賞」建築物環境衛生技術の向上や業界の指導育成などの顕著な功績があった方々を対象に表彰が行われました。

※尾奈小コミスクだより第2号でもご紹介していますが、経験を活かして7月には「新型コロナウイルス感染症と熱中症について」講話をしてくださいました。

一年を通して、教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございました。来年度も引き続きご協力をお願いいたします。令和5年度 第1回学校運営協議会は、4月25日午後1時30分から行います。